

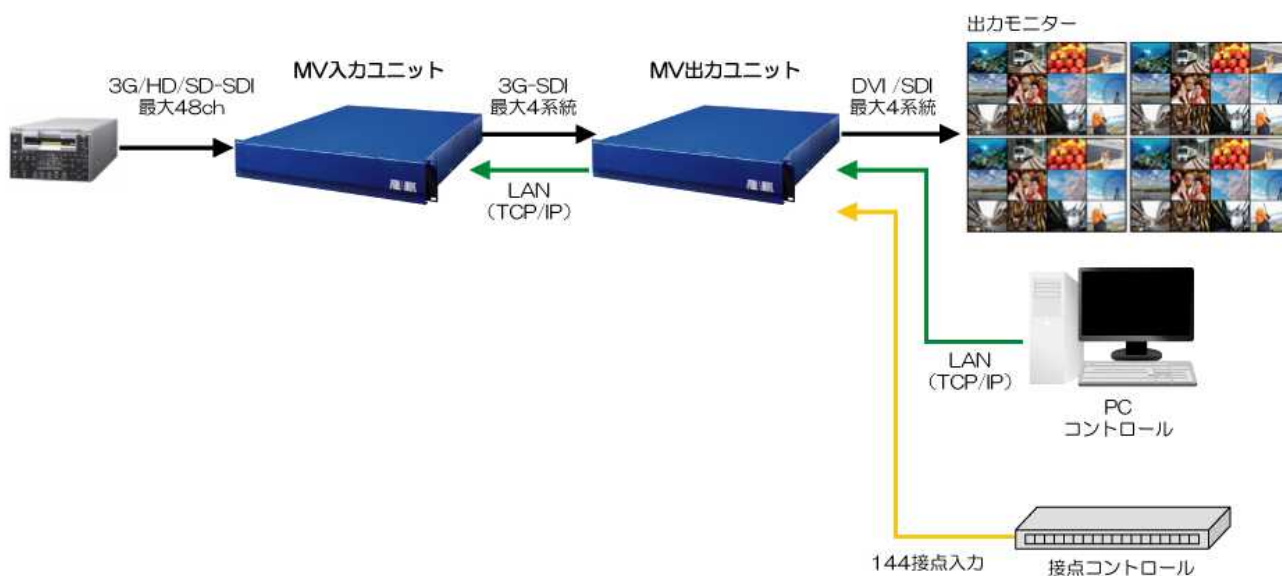
# アルビクス・マルチビューワ (MV-550) V0.4

## 概要/特長

1. アルビクス・マルチビューワは、SDI信号を入力し、大画面・高解像度液晶ディスプレイなどに分割表示することができます。
2. 48ch入力可能で、レイアウトが全く異なる分割画面を4系統出力します。  
例えば、12分割画面を4系統出力することができます。
3. 入力段に48×48のMTXスイッチャーを搭載しますので、入力の48chは4系統出力のどこにでも出力することができます。  
また、1つの入力を分配し、複数の出力モニターに表示する事も可能です。  
運用時に、入力チャンネルを入れ替える事も可能です。  
※1入力を複数のモニターに跨いで表示することは出来ません。
4. 入力は、SD/HG/3G-SDI（自動判別）で、混在可能です。  
※3G-SDIは LevelA/1080p/4:2:2 対応。
5. エンベッドオーディオに対応し、最大8chのオーディオレベルバーを合成することができ、目視による音声の確認が出来ます。
6. NTPサーバー又はLTC入力が可能でアナログ時計/デジタル時計表示を同時に表示可能です。  
レイアウトパターンは出力毎に8個持つ事が可能です。
7. チャンネル名称は、シフトJISコード（第一水準）の文字が表示可能です。  
出力ユニットで合成します。
8. 分割表示の他に背景画像表示やコメントウィンドウ表示があり、背景に静止画を登録・表示したり、コメントウィンドウで文字やタリーなどを自由に表示することが可能です。
9. 外部制御はLANインターフェイスを装備し、アルビクスエラー装置と連動してエラーインジケータを表示する事が出来ます。  
入力の信号状態（同期断、黒味、フリーズ、無音）などをSNMPトラップで通知する事が可能です。  
設定はTCP/IPで行います。  
タリー点灯、文字表示などの制御用に接点入力（144接点）、RS-232C、RS-422を装備します。
10. 電源はリダンダントでフロントメンテナンス可能です。

## 仕様

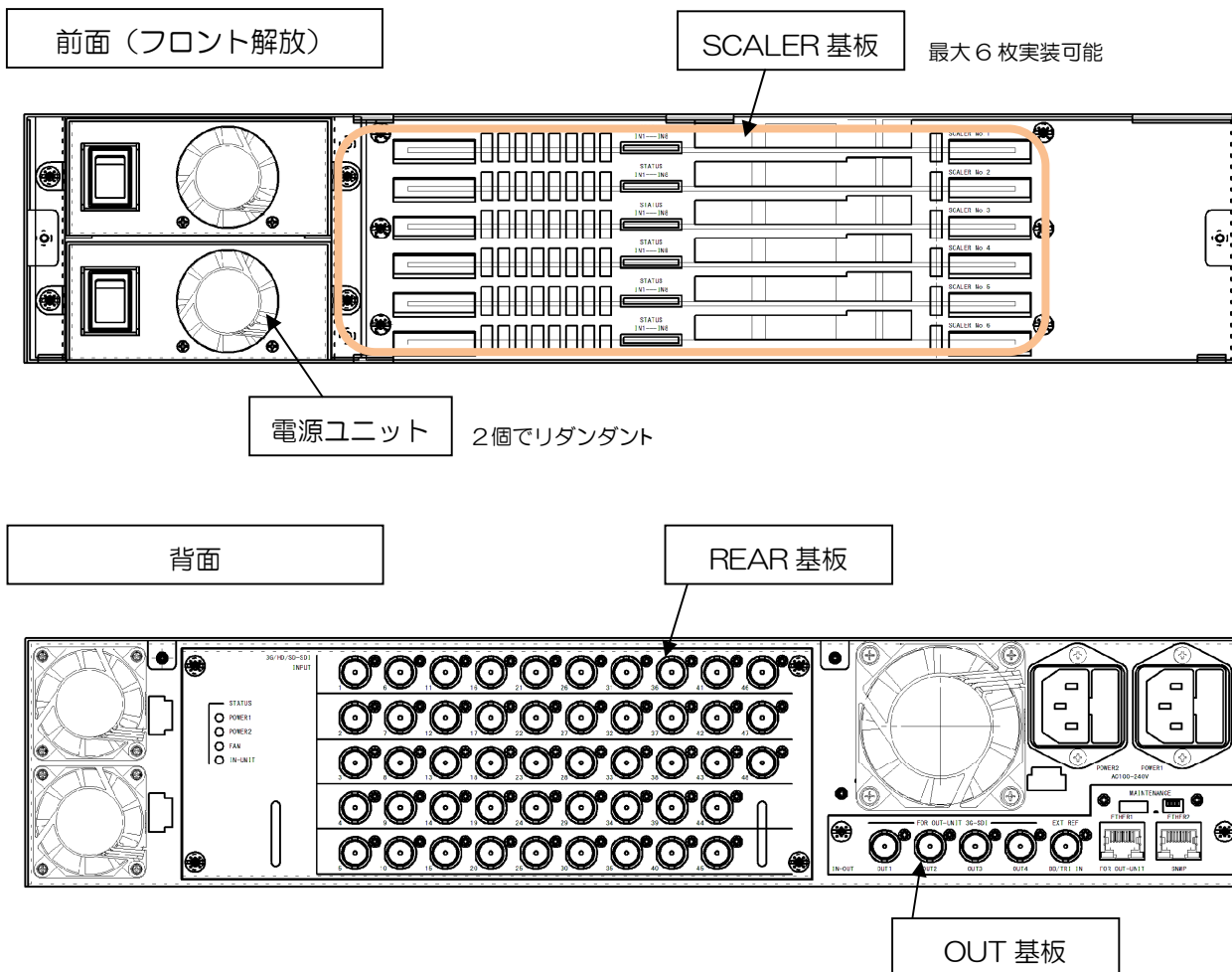
### <機器構成イメージ>



<入力ユニット>

- ◆REAR基板、SCALER基板、OUT基板で構成し、主な機能としては、SDI入力部、48ch入力マトリクス、画像リサイズ、オーディオレベルバー合成などを行いSDIで出力します。最大実装時、48chの入力をレイアウトが異なる分割画面で4系統出力します。

◆外観図



<REAR基板：IN-REAR-48>

- ◆SDI受信回路を48個搭載します。
- ◆入力信号コネクタ : BNC×48個
- ◆入力信号 : SD/HD/3G-SDI 59.94Hz
- ◆入力音声信号 : エンベデッドオーディオ 8ch対応

<SCALER基板：IN-SCALER-8>

- ◆入力8系統のリサイズ・合成処理を行います。
- ◆入力ユニットに最大6枚実装可能で、最大48chの子画面を出力可能です。
- ◆その他機能
  - ・SDI受信：SD/HD/3G-SDIを受信します。(自動判別、混在可能)  
※3G-SDIは LevelA/1080p/4:2:2 対応。
  - ・オーディオバー表示：エンベデッドオーディオを分離しオーディオバーとして合成します。
  - ・IP変換：動き適応型IP変換を搭載しなめらかな動画を実現します。
  - ・リサイズ：任意位置、サイズに変換します。

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

<OUT基板：IN-OUT>

◆SCALER基板からの信号を4系統の3G-SDI信号にして、出力します。  
また、出力ユニットからの制御を各基板に伝達したり、出力ユニットに伝達します。

◆入力ユニットに1枚必要です。

◆出力信号コネクタ : BNC×4個  
出力信号 : 3G-SDI

◆制御コネクタ : RJ-45×1個 (TCP/IP)  
出力ユニットと接続します。

◆SNMPコネクタ : RJ-45×1個 (SNMP)  
入力の信号状態などのトラップを発報します。

<筐体：MV-550-ITN>

◆外形 : 2Uラックマウントサイズ  
W430×H88×D576mm

◆電源ユニット : 2個実装可能です。  
(MV-550-IPU) 2個でリダンダント、フロントメンテナンス可能です。

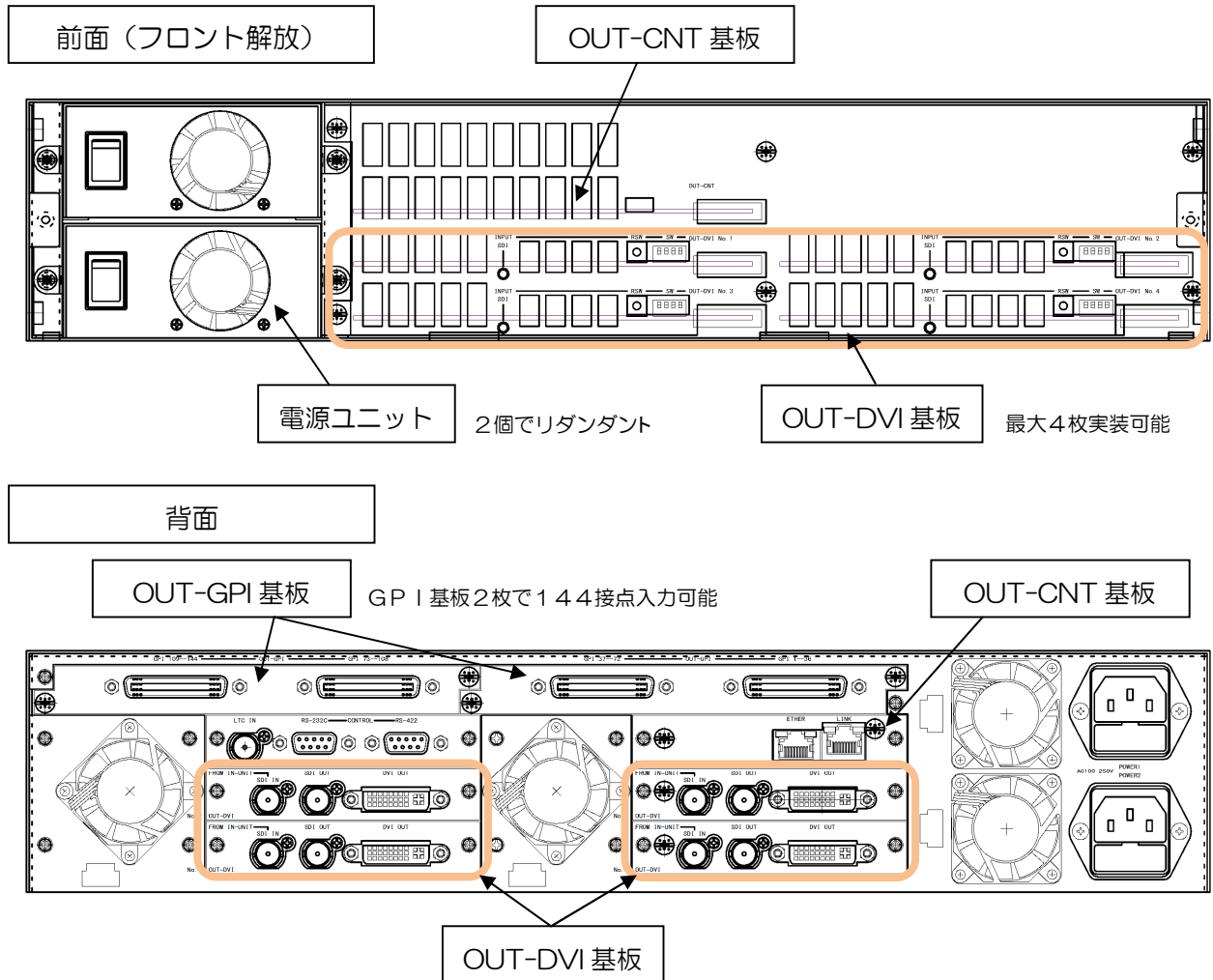
◆重量 : 約11kg

◆消費電力/皮相電力 : 約321W/324VA

### <出力ユニット>

- ◆DVI基板、CNT基板で構成し、  
 主な機能としては、チャンネル名称合成や背景、インジケータ合成などを行います。  
 モニターに合わせて、DVIやSDI信号に変換します。  
 外部（上位）からのコマンドを受信し、入力ユニットを含む各基板の制御を行います。  
 また、オプションのGPI基板を実装することで、接点での制御が可能です。

#### ◆外観



### <DVI基板：OUT-DVI>

- ◆チャンネル名称、ロゴ、背景、コメント表示、インジケータ表示を合成します。  
 モニター解像度に合わせてスケーリングを行い出力します。
- ◆出力ユニットに最大4枚実装可能で、4個のモニターへの出力が可能です。
- ◆SDI入力コネクタ : BNC×1個  
 SDI入力信号 : 3G-SDI 59.94Hz 入力ユニットより入力
- ◆DVI出力コネクタ : DVI×1個 (DVIデジタル)  
 DVI出力信号 : DVI 最大1980×1080P  
 ※ケーブル長の制限があります。  
 ※DVI-HDMI変換ケーブルを使用することで  
 HDMIモニターに出力可能です。
- ◆SDI出力コネクタ : BNC×1個  
 SDI出力信号 : HD-SDI 59.94Hz
- ◆その他機能  
 ・時計表示 : アナログ時計とデジタル時計を合成します。

#### <CNT基板：OUT-CNT>

◆外部（上位）からのコマンドを受信し、入力ユニットを含む各基板の制御を行います。

◆外部制御コネクタ : RJ-45×1個  
制御方式 : TCP/IP

◆入力ユニット制御コネクタ : RJ-45×1個 入力ユニットと接続します。  
制御方式 : TCP/IP

◆LTC入力コネクタ : BNC×1個  
LTC入力信号 : LTC (SMPTE 12M)

◆RS-232Cコネクタ : D-SUB9ピン（オス）×1個

◆RS-422コネクタ : D-SUB9ピン（オス）×1個

※RS-232C/RS-422は枠色、タリー、文字変更などの制御用です。

#### ◆その他機能

・LTC入力 : LTC信号を受信し、アナログ時計とデジタル時計の情報をDVI基板に出力します。

・TCP/IP : 機器の設定などを行います。

#### <GP I基板：OUT-GP I>

◆接点入力基板です。

接点入力をデジタル・アイソレーション回路で受信します。

OUT-GP I基板2枚で144接点を入力可能になります。

※接点入力は枠色、タリー、文字変更などの制御用です。

◆接点入力コネクタ : ヒロセ電機社製 DXシリーズ50pin×2個（72接点入力）  
基板実装コネクタ : XD10A-50S（50） レセプタクル

#### <筐体：MV-550-OTN>

◆外形 : 2Uラックマウントサイズ  
W430×H88×D442mm

◆電源ユニット : 2個実装可能です。  
(MV-550-OPU) 2個でリダンダント、フロントメンテナンス可能です。

◆重量 : 約9kg

◆消費電力/皮相電力 : 約200W/204VA